

平成17年度窯業同窓会総会 式次第

- 1) 開会の挨拶： 司会 武幹事、書記 金古学年幹事
- 2) 鈴木弘茂窯業同窓会長挨拶
- 3) 定例前行事
 - 物故者哀悼 (14名)
 - 各賞受賞者の紹介
 - 優秀学士論文の表彰 : 鈴木会長
 - 卒業50周年記念 記念品贈呈
 - 最近の学内の動き : (大岡山) 柴田教授 (すずかけ台) 近藤教授
- 4) 平成16年度事業報告並びに決算報告
 - 事業報告 : 鈴木会長
 - 各支部報告
 - 関東支部：尾島支部長
 - 東海支部：石井支部長
 - 関西・九州地区について：
 - 決算報告：山内幹事
- 5) 平成17年度事業計画並びに予算：鈴木会長
- 6) 役員改選 : 鈴木会長
- 7) その他

平成17年度窯業同窓会での会長挨拶

会長 鈴木 弘茂

来賓各位、同窓の皆様には、御健勝の御体に拝し、欣快の極みであります。総会を機に、お会いし、お話し合いの出来ることは、何よりの楽しみであります。

さて、大きな期待を持って迎えた21世紀も、内外とも多事で、心の安らぐ気配は感じられません。諸事変化のスケールが大きく、そのスピードが速く、上手く対応して行くのは容易ではないと思います。この時期同窓会は、これに呼応して、会員のため、さらに関連企業や母校教職員に対しても役に立つ有意義な事業を積極的に進められたらと願っております。目先に困難は多いと思われませんが、よく前を見れば必ずチャンスもあり、それを捕らえて努力すべきであり、その結果として個性・特性のある窯業同窓会に発展して行くものと信じております。

平成16年度は、これまで衆智を集め、選定したいいくつかの目標に向かって、役員・幹事が力をあわせ、懸命に努力した結果、相応の結果を収めることが出来たと自負しております。更に詳しくは、本総会に於いて順次報告されますが、主な成果は、(1)会員名簿の改訂・刊行を完了し、(2)電子ITを活用し、情報伝達の迅速化が達成され、(3)関東支部の活動が本格化し、支部長のリーダーシップにより、見学会、講演会、支部総会を本部総会のほかに開催し、会員及び関係する部外者の間でも極めて好評を博しております。更に(4)母校への協力として、10月にワグネル先生記念顕彰事業に協力することが出来ました。しかし、「地方支部の組織化やその事業の活性化」や、若手幹事諸君を中心とした若手の「勉強会」を立ち上げようとする目標は、初期の目標までの到達は難しく、今後の課題として残されております。

平成17年度に於いては、これら残された課題に向けて、改めて予算を組み広く衆智を集めて挑戦していきたいと存じます。そして窯業同窓会の次の目標に向かう道筋を開き、若い会員にそれが引き継がれるよう期待しております。会員の皆様のご理解とご指導・ご協力をお願いします。今日は、本総会后、二つの格調の高い有益なご講演がありますので、是非ご出席いただきたく、更に、懇親会にて積もる話に花を咲かせていただきたいと思っております。

はるばる多数ご参集いただきましたことに、心から御礼申し上げてご挨拶といたします。

以上

平成16年度事業報告

昨年度の総会で承認された事業計画に従い、また更に役員会・幹事会等で討議を重ね、次記に示す各事業が実行され、相応の成果を挙げることが出来た。()内は、残された課題等を示す。

記

1. 会員間及び本部からの情報の伝達について

1) 2004年版窯業同窓会会員名簿の発行、発送を実施し、責任を果たす事が出来た。

(会員の移動・誤植の訂正、管理及びプライバシー保護等の課題が残る。)

2) 情報伝達では、HPの充実、相互のメール交換等により会報などの代替、情報伝達、相互の意見交換等が積極的に行われた。

2. 支部との連携強化及び学年幹事の積極的な活動を促す。

- 1) 関東支部は、本部機能の一部を補い、昨年度から活発な活動を展開しており、軌道に乗りつつあり十分なる成果を納めた。
- 2) 東海支部は、古い歴史があり、相応な活動を行って、成果を挙げている。(全会員平等サービスという面から見ると、更なる新しい動きを期待したい。)また、関西・九州においても関係者の努力が継続されている。(どのような支援が望まれるのか、模索を続けたい。)
- 3) 本部及び関東支部において、若手の方々による勉強会を立ち上げる努力がおこなわれた。(更なる展開をどのように行うか皆でバックアップしていきたい。)

3. 母校の教・職員・学生及び蔵前工業会や、同技術士会と本窯業同窓会との協力強化に努力した。

- 1) ワグネル先生顕彰事業に、50万円寄付を行い協力した。
- 2) 蔵前工業会、同技術士会とは、夫々の行事に参画し、協力を行った。

以上

平成17年度事業計画

基本的には、前年度未達成・不十分な事業の解決に努力するとともに、更なる新しい展開にチャレンジしていきたい。また予算面でもそれらを支援する体制をとることを考慮したい。

記

1. 本部関連事項

- 関東支部と協力し、手分けして、講演会・見学会を開催する。
- 母校の法人化に対応し、同窓会事務局の場所、担当者の確保に努める。
- 会員名簿の維持管理に関し、外部委託を含め予算配分を行う。又、IT化、プライバシー問題をどのように今後の名簿発行に反映していくかを検討したい。
- IT化については、更なる進展に備え、専従担当者の選定と予算処置対応を行う。

2. 支部関係事項

- 関東支部については、本部機能の一部移管をお願いし、その活動充実に相互に努力していきたい。
- 東海支部とは、連絡を密に取りながら、その活動・更なる展開に対する支援を行う。関西・九州地域については、まずは、連絡所の設置を行い、今後の方向を話し合っていきたい。

3. 会員と周辺との交流を促す新事業計画と会員へのサービス

- 従来から継続の勉強会の今後の展開を検討するとともに、新しい試みとして、会員サービスの一環として、会員の研究・発明を母校教員の協力を得て、関連する企業に結びつける等、ベンチャー企業の育成及び技術士・知的財産権・MOT等の講習会の開催等を行うことも検討したい。又、加えて、音楽・スポーツ・舞・謡・陶芸等趣味の分野でも共生できる場づくりに貢献できないか考えてみたい。

以上

平成15年度決算、16年度予算対比決算報告並びに17年度予算(案)

項目	15決算	16予算	16決算	17予算
収入				
年会費・寄付金	1,876,500	1,850,000	2,248,500	1,900,000
総会・懇親会費	245,000	245,000	270,000	270,000
名簿掲載広告費		450,000	343,350	
利子	40		40	
小計	2,121,540	2,545,000	2,861,890	2,170,000
前年度繰越金	5,218,520	5,591,893	5,591,893	5,370,508
合計	7,340,060	8,136,893	8,453,783	7,540,508
支出				
総会関係費	1) 1,161,719	1,136,240	864,917	900,000
名簿発行費関連	126,472	2,480,000	1,506,535	150,000
調査・管理費		200,000	2) 0	3) 100,000
発行代		1,800,000	1,040,560	0
発送代	126,472	480,000	465,975	50,000
本部関係費	239,385	350,000	36,649	730,000
役員・幹事会費			17,352	50,000
同上交通費				200,000
講演会・見学会				150,000
IT関係費		50,000	0	100,000
通常経費	39,385	50,000	19,297	30,000
事務局経費	200,000	250,000	0	200,000
支部関係費 4)	220,591	463,760	174,334	610,000
関東支部		100,000	53,110	200,000
東海支部		142,320	42,320	300,000
(関西)		127,500	34,964	50,000
(九州)		93,940	43,940	60,000
会員活動費 5)		200,000	0	300,000
その他			6) 500,840	
小計	1,748,167	4,630,000	3,083,275	2,690,000
予備費	-	3,506,893	-	4,850,508
次年度繰越金	5,591,893	-	5,370,508	-
合計	7,340,060	8,136,893	8,453,783	7,540,508

注)

1) 支部関係者交通費を含む

2) 調査費は、発行費に含む

3) 簿管理・修正費等、外部委託を想定

4) 本部総会交通費、支部総会日等を含む

5) 従来から継続の勉強会に加えて、ベンチャー企業育成のための各種方策の実行、技術士・知的財産権・MOT等の講習会開催、また音楽・謡・舞・スポーツ・陶芸等の催し・集い等の開催等を計画

6) ワグネル展への寄付金(振り込み費用含む)

以上